

令和7年 高森町二十歳の集い



1月3日(金) 高森総合センターで「令和7年高森町二十歳の集い」が開催され、今年二十歳になる45名が晴れ着やスーツ姿で参加しました。友人や恩師との再会を喜び、記念写真を撮ったり、昔話に花を咲かせていました。

草村町長は「重大な決断をするときに大事なことは直感力とスピード。今がフルスイングする時だというときの瞬間の直感力を養うことが大事。皆さんにはこの直感力は備わっている。だから自分を信じて自分がこうする時だと思ったらスピード感をもって取り組んでほしい」とエールを送りました。



【記念品贈呈】
有川 剣さん



【交通安全宣言】
豊田 萌奈さん



【参加者意見発表】
山内 佑夏さん



【参加者意見発表】
工藤 勇哉さん



【司 会】
住吉 秀心さん
山室 明莉さん

本日は、二十歳を迎えた私たちの門出に対し、このような盛大な式を催していただき、誠にありがとうございます。また、高森町長様をはじめ、ご来賓の方々、そしてご出席いただきました皆様に対し、出席者一同、心より感謝申し上げます。

私たちが生まれてから20年という歳月がたち、このように二十歳としての一歩を踏み出したのは、家族や地域の方々、先生や先輩方、そして友人の支えがあったからだと思っています。この場をお借りして、心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。私たちは高森町で幼少期を過ごし、小学校や中学校では多くの学びと貴重な経験を重ね、たくさんの方の思い出を作ってきました。その後、高校卒業とともにそれぞれの進路を選び、新しい環境で挑戦を続けてきました。

今日、二十歳という節目を迎え、学生として勉学に励む者、社会人として仕事に勤む者、様々な道を歩んでいる私たちがここで再会できたことを嬉しく思います。

私事ではございますが、現在、大学に進学し、経済学部で法と経済学について学んでおります。法と経済学の関係について学ぶ中で、社会の仕組みやルール、そしてそれらが人々の生活やビジネスにどのように影響を与えているかを深く理解する機会を得ました。これまでの学びを通して、私たち一人ひとりが社会の一員としてどのように貢献できるのかを考えるきっかけとなりました。

私たち出席者は、今、人生の新たなスタート地点に立っています。これまで支えてくださった多くの方々の期待に応えるべく、これからの人生において責任を持ち、周囲に感謝の気持ちを忘れず、自分の力を最大限発揮してまいります。自分の夢や目標に向かって努力を続け、社会に貢献できるような大人になることを誓います。もちろん、まだまだ未熟な私たちですが、これからの人生の中でたくさんの方の学び、成長していきたいと思っています。どうか今後とも温かいご指導ご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。

最後になりましたが、再び、このような素晴らしい式典を開催していただいたことに感謝し、出席者を代表しての挨拶とさせていただきます。



赤星 翔真さん

代表宣誓